



茶屋町在宅診療所

「この町で生きてゆく」を支える

ハレノヒ通信

～茶屋町在宅診療所からのお知らせ～

MAY

5

2026
VOL.9

院長コラム

茶屋町ハレノヒの完成まであと少し！

5月のやわらかな風の中で、工事が進んでいる「茶屋町ハレノヒ」も、完成まであと少しとなりました。

建物の形が少しずつ見えてくるたびに、私たちもわくわくしながらその日を待っています。

茶屋町ハレノヒは、ただ新しい建物をつくる、というだけのものではありません。

私たちがこの地域で在宅医療を続ける中で、「こんな場所があったらいいな」と願ってきた思いを形にした場所です。

病気や年齢に関係なく、誰でもふらっと立ち寄れて、少しほっとできること。

人と人が、無理なく、ゆるやかにつながれること。

困りごとがある時だけでなく、何もなくても行ってみたくなること。

そんな場を、このまちの中につくりたいと思ってきました。

2階には、対話を大切にしたい外来や学びの場ができます。

1階には、地域の方が集えるコミュニティスペースができます。

医療のためだけの場所ではなく、暮らしのそばにある場所として、少しずつ育てていけたらと思っています。



「ハレノヒ」という名前には、特別な日という意味があります。

でも私たちは、毎日の暮らしの中で少し気持ち明るくなったり、誰かとつながって元気をもらえたりする時間もまた、大切な“ハレの日”だと感じています。

完成したら終わりではなく、ここからが始まりです。

地域みなさんと一緒に、この場所を少しずつ育てていけたら嬉しいです。

また通信でも、これからのことをお知らせしていきます。どうぞ楽しみにしてください。

茶屋町ハレノヒ

院長コラムのとおり、茶屋町ハレノヒの完成まであと少しとなりました。

外側の幕や足場がはずれ建物の全容が見えてきたことで、私たちも「いよいよだな」という気持ちが高まってきました。

外装を美しく整えてくださる職人技も非常に興味深いものです。

これからここで皆さんと何をしようか、何を作っていこうか…と思い巡らせながら、日々建物を眺めています。

我が家自慢

Hさんちの「みいちゃん」、21歳



Hさんちの愛猫「みいちゃん」、21歳。
調べてみると、人間の年齢では100歳～104歳になるそうです！
鈴の首輪がかわいくて、よく似合っていますね。

茶屋町在宅診療所の「茶太郎」、8歳

茶太郎は2018年の9月にやってきました。
気づけば8歳。人間の年齢だと48歳なので、そろそろ体の変化に気をつけたいお年頃です。



お知らせ

期限切れの保険証について

期限切れの保険証使用の期限が延長されました。
2026年7月末まで使用可能です。
また、85歳以上の後期高齢者にはマイナ保険証の保有状況にかかわらず、資格確認書が交付されます。

スタッフつれづれ

新しく仲間入りしました！

はじめまして。4月1日付けで入職した、田原と申します。診療所の総務事務と、新しくオープンする「茶屋町ハレノヒ」に関する業務を担当します。いままで経験したことのない分野なので、早く慣れるように努力の日々を過ごしています。

これからよろしくお願いたします。



毎年この時期になると、イチゴジャムを作るのが恒例になっています。




編集後記


お読みいただきありがとうございます。
今月から、ハレノヒ通信のデザインを一新しましたがいかがでしょうか。

急に気温が高くなってきました。
気をつけて過ごしたいですね。

茶屋町在宅診療所

〒710-1101
倉敷市茶屋町360番地12

 <https://chayamachi-homecare.jp/>

 086-429-0033

インスタも
チェックしてね！

